

平穏な日々を当たり前とせず、教育活動のさらなる充実をめざす

今年の夏は猛暑を超えた酷暑でした。保護者の皆様はいかがお過ごしだったでしょうか？

終業式で、子どもたちに三豊市沖で活断層が見つかったことや4月から震度5弱以上の地震が11回発生していることを伝え、いつ起こるか分からない災害に備え、これまでの学習を思い出し、安全に配慮しながら充実した夏休みを過ごしてほしいと話しましたが、7/28に熊本県で発生した震度7の大地震、そして8/13に千葉県で発生した大雨と土砂災害により尊い命が失われ、今もなお多くの方々が停電や断水などに苦しみながら、避難生活を余儀なくされています。改めて、亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々にお見舞い申しあげます。本校としましても、平穏な日々を当たり前とせず、ボランティアリーダーを中心にできることで協力していきたいと考えています。

下に、1学期末に保護者の皆様にご協力をいただいたアンケートの結果を報告します。問1) 安心して登校と問11) 情報提供に対して、高い肯定率と半数以上の「できている」評価をいただきました。問2) 授業を「楽しく受けることができている」の肯定率が向上し、初めて90%を超えました。問3) 授業内容の理解の肯定率も向上し、初めて70%を超えました。問4) 家庭学習の習慣については、今回も厳しい評価であることを真摯に受け止めたいと思います。問7) 周りの大人への相談と問8) トラブルに対する適切な指導については、大幅に肯定率が向上しました。今後も継続していければと思います。問9) ボランティア活動については、企画・実施ができていない事実がありますが、今夏の被災地への支援、秋祭りへの協力を呼びかけていきたいと思います。この結果については教職員全員で共有し、これまでの取り組みを検証するための貴重な資料とさせていただき、2学期からの改善に向けた取り組みを確認したところです。詳しくはホームページに掲載していますので、ご覧ください。

【回答】A：そう思う、B：どちらかと言えばそう思う、C：どちらかと言えばそう思わない、D：そう思わない→以下に示す数値はA+Bの割合を%で表しています。

	質 問	8年7月	7年7月
1	お子様は安心して登校できている。	97.6	96.7
2	お子様は授業を楽しく受けることができている。	90.5↑	84.3
3	お子様は授業の内容を理解できている。	70.5↑	67.4
4	お子様は家庭学習の習慣が身に付いている。	56.4↑	54.0
5	お子様は自分の意見や考えを言う力をつけていると思う。	68.2	67.4
6	先生はお子様のことを理解した上で指導してくれている。	91.8↑	84.3
7	お子様は困りごとや不安があるときに、周りの大人に相談できている。	91.8↑	79.7
8	先生は生徒の間でトラブルが起こったときなどは適切に指導してくれる。	93.0↑	85.4
9	お子様はボランティア活動に積極的に参加している。	50.6↓	52.8
10	学校では教職員が協力して組織的な体制で取り組んでいると思う。	90.6↑	86.5
11	メール配信や各種通信の発行頻度、学校開放日は現状のままでよいと思う。	93.0	96.7
12	学校は保護者や地域と連携した教育活動ができていると思う。	91.8↑	89.9

豊かな心

夏休み中に、高松で行われた「人権うどん県未来プロジェクト」に1・2年生7名が参加しました。8/3(1回目・4名参加)は、「多様性と人権が守られる平和な社会を創るために人権リーダーズができること」を、色々なメンバーと終日考えました。8/21(2回目・3名参加)は、「多様性が尊重される学校になるために必要なこと」を、午前中に3名のゲストから話を聴き、午後から各グループで具体的に考えました。人権について他者の意見を聴きながら、しっかりと考える良い機会になりました。



豊かな心

地震被害の熊本県、大雨被害の千葉県に対して、自分たちにできることを相談した結果、義援金とメッセージ入り土のう袋を送ることを決めました。義援金は明朝から3日間、玄関で協力の呼びかけをします。保護者の皆様も趣旨をご理解いただき、ご協力よろしく願いいたします。また、土のう袋は両小学校と協力し、2カ所のボランティアセンターに送る予定です。